

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づく 当面3月7日までの対応

(令和3年2月5日)

■ 感染拡大防止対策について

基本的な感染対策の徹底！

- 手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など
- **家庭内での感染対策を徹底**
(家庭で気を付けていただきたい 4つのポイント+1)
- **職場での感染対策を徹底**
(職場内感染を防ぐ 4つのポイント)

往来について

【県民の皆さまへ】

- 緊急事態宣言対象地域への不要不急の往来は控えて

【県外の皆さまへ】

- 緊急事態宣言対象地域から滋賀県への不要不急の往来は控えて

会食について

- 会食は感染対策をした上で家族や普段一緒にいる人と

■ Go to イートキャンペーンについて

- 食事券の新規発行の一時停止を継続※
 - 発行済みの食事券等の利用を控えるよう県民の皆さまへ要請
- ※現在、2月28日までとなっている販売期限については、3月1日以降も延長される見込み

※なお、これらの対策については、今後の状況を踏まえ、3月7日を待たず
ステージ判断を含め必要な見直しを行っていく。

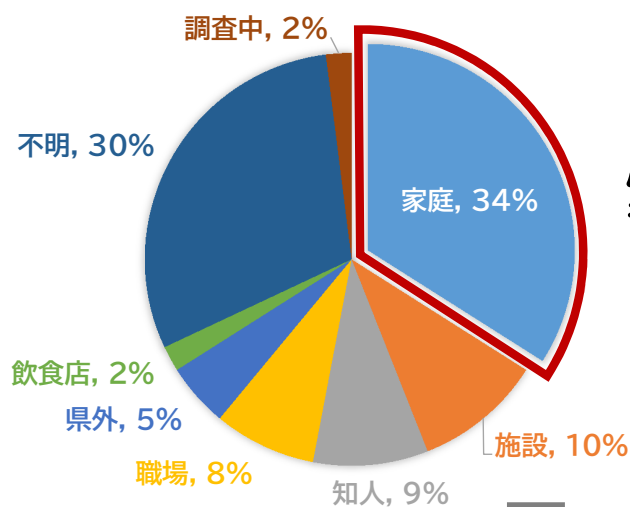
家族を守るために 家庭で気を付けていただきたい

4つのポイント + 1



現 状

感染経路別(1月1日~1月31日)
(N=948人)



家庭内での感染が多くみられる

- まず、家庭に持ちこまないことが重要
- さらに家庭内でも予防対策を

Point 1

家庭に持ち込まない

これまでの感染事例では…

- 親戚大勢が集まって食事をし、家庭内で感染拡大
- 友人とクリスマス会。その後参加者が家庭内で感染拡大



予防するためには

✓ 会食は感染対策をした上で
家族や普段一緒にいる人と



Point 2

家庭内で拡げない

これまでの感染事例では…

- 風邪などの症状があったが、家族と同じ部屋で過ごし、家庭内で感染拡大
- 普段接しない人とマスクなしの会話（会食の場など）をし、家庭内で感染拡大



予防するためには

✓ 食事の時間をずらす
✓ 部屋を分ける
✓ 同室で過ごす場合はマスクの着用



Point 3

車の中でも感染対策を

これまでの感染事例では…

- 複数人の友人と車で出かけ、その後同乗者が家庭内で感染拡大



予防するためには

✓ 適度な換気

(エアコンを外気導入にし、窓を開ける)

✓ マスクを着用



Point 4

基本的な感染対策も十分に

これまでの感染事例では…

- 家庭内では、基本的な感染対策が不十分に



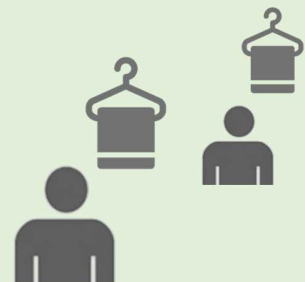
✓ 帰宅時および**飲食前には手洗い**

✓ **咳エチケット**の実践

✓ **タオルの共有**をしない

✓ 部屋の定期的な**換気**

✓ こまめな**共有部分の消毒**



コロナに負けない健康づくりを

+ |

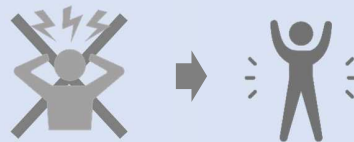
✓ 栄養や休養をしっかりとる



✓ 適度な運動の実施



✓ ストレスをためない



職場内感染を防ぐ 4つのポイント



Point 1



Point 2

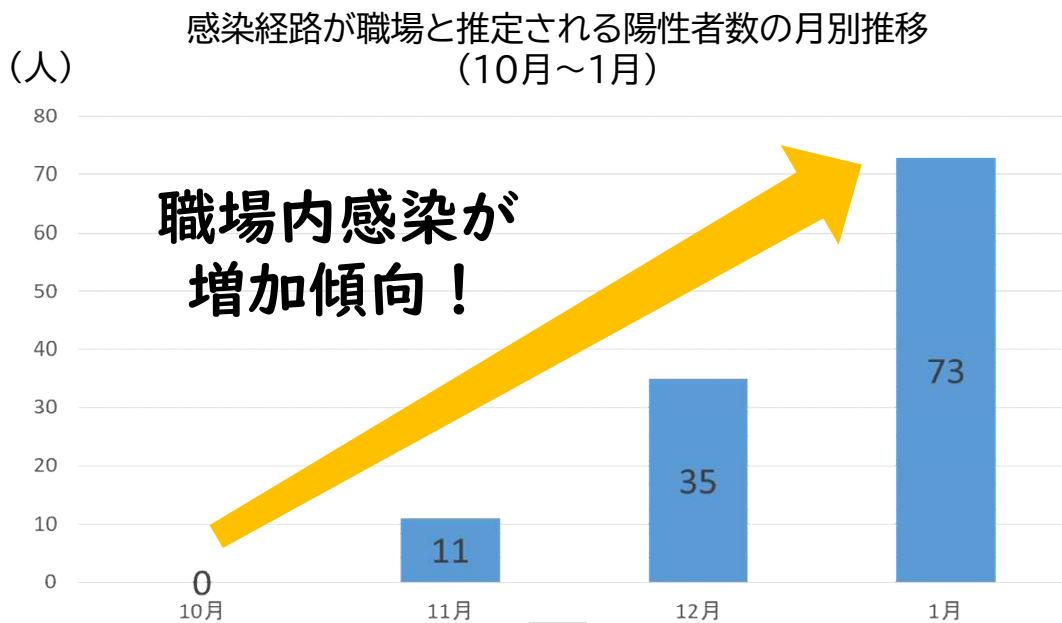


Point 3



Point 4

現 状



- 職場に持ちこまないことが重要
- さらに職場内でも予防対策を

Point 1

出勤前後

これまでの感染事例では…

- 発熱や倦怠感などの体の不調を感じたにもかかわらず出勤したため、感染拡大
- 普段接していない人と飲食したため、感染拡大



予防するためには

- ✓ 体調に違和感がある場合は
出勤を控える
- ✓ 会食は感染対策をした上で
家族や普段一緒にいる人と



Point 2

仕事中

これまでの感染事例では…

- 勤務中に体の不調を感じたものの、そのまま勤務を継続したため、感染拡大
- 1時間に2回の換気ができていない執務室での感染拡大
- 車内でのマスクなしの会話や飲食をしたため、感染拡大



予防するためには

- ✓ 体に不調を感じた時は**早めに申告**
- ✓ 職場内でも適宜、**手洗い・消毒・換気**
- ✓ 対面で会話をするときは**マスクの着用**や
仕切りの設置
- ✓ 車内でも**マスクの着用**と換気を



Point 3

休憩時

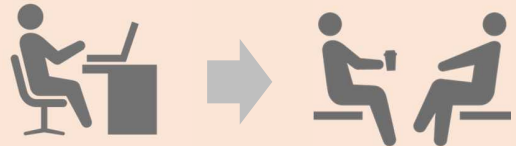
これまでの感染事例では…

- 昼食時にマスク、仕切りなしで会話をしたため、感染拡大
- 休憩室や更衣室でマスクなしで会話をしたため、感染拡大



予防するためには

- ✓ 会話の際はマスク着用
- ✓ 休憩・更衣・食事の時間をずらす
- ✓ 休憩時や喫煙時など一息つく場面では特に注意



Point 4

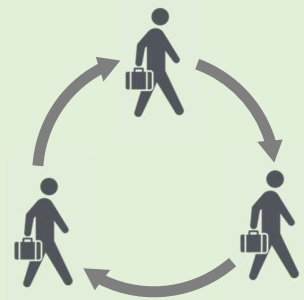
新しい働き方の実践

これまでの感染事例では…

- 研修や会議の場での感染拡大



- ✓ テレワーク勤務の活用
- ✓ ローテーション勤務の活用
- ✓ 時差出勤の活用
- ✓ 会議はオンラインで



新型インフルエンザ等対策特別措置法 第24条第9項に基づく要請について

令和3年(2021年)2月5日
滋賀県新型コロナウイルス
感染症対策本部

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき、下記のとおり協力の要請を行う。

記

1 感染対策の徹底

- ・ 基本的な感染対策の徹底(手洗い、マスクの着用、3つの密の回避など)
- ・ 会食は感染対策をした上で家族や普段一緒にいる人とする
- ・ 家庭でも、咳エチケット、こまめな換気と加湿、取手・ノブなどの共用部分の消毒を実践
- ・ 家族以外の方と接する場面(会食、寮などの共同生活、休憩室等)では、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意。特に、グラスや箸の共用を控え、会食時であっても会話の際にはマスクを着用
- ・ 感染者が多数確認されている地域では、より注意して行動
- ・ 発熱等の症状がある場合は、自宅で休養
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」、接触確認アプリ「COCOA」の活用

2 施設・事業所における感染防止策の徹底

- ・ 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底。利用者にも感染防止策への協力を依頼
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の導入と「感染予防対策実施宣言書」の掲示
- ・ テレワーク・時差出勤の推進

3 外出について(当面令和3年3月7日まで)

- ・ 緊急事態宣言対象地域への不要不急の往来は控える
- ・ その他の感染者が多数確認されている地域への不要不急の往来は控える
- ・ 緊急事態宣言対象地域から滋賀県への不要不急の往来を控える

4 イベント開催について(当面令和3年2月末まで)

(1) イベントを開催する場合は以下の目安で開催

<基本的な考え方>

必要な感染防止策が担保される場合には、収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度(両方の条件を満たす必要)とする。

| 時期 | 収容率の目安 | | 人数上限の目安 |
|-------------|---|---|--|
| 当面令和3年2月末まで | 大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの ・クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会等 ・飲食を伴うが発声はないもの ^(※1) | 大声での歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等 | ① 収容人数 10,000 人超 ⇒収容人数の 50% ②収容人数 10,000 人以下 ⇒5,000 人 |
| | 100%以内 〔席がない場合は適切な間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)〕 | 50%以内 ^(※2) 〔席がない場合は十分な間隔(1m)〕 | |

※1 これまで、「イベント中の食事を伴う催物」は、大声での歓声・声援等が想定されるものと扱ってきたが、今後、必要な感染防止策が担保され、イベント中の発声がない場合に限り、イベント中の食事を伴う場合についても、「大声での歓声・声援等がないことを前提とするもの」と取り扱うこととする。

※2 異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限る。)内では座席間隔を設けなくともよい。すなわち、収容率は50%を超える場合がある。

(2) 大規模イベントにおける感染防止策の事前相談

全国的な移動を伴うイベントや参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定されている場合の滋賀県新型コロナ対策相談コールセンターへの相談

【滋賀県新型コロナ対策相談コールセンター】

- 電話番号:077-528-1344
- 開設時間:9:00~17:00(平日のみ)

感染リスクが高まる



「5つの場面」

① 飲酒を伴う懇親会

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



⑤ 仕事から休憩室などへの居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

